

# たまかわ 1997 9

No.373

空と緑`新、呼吸する——広報TAMAKAWA



## 秋の訪れ

暑い夏も終わり、  
朝夕、涼しい季節となりました。  
村英語指導助手のアリソン・フィールドさんは、  
すがま幼稚園児といっしょに桃狩りを体験しました。  
(7面、9面に関連記事)

# 事故ゼロへ 大きな輪 になれ うつくしま

## 止めよう、なくそう交通事故

### 交通事故は防げます

村内の交通情勢は、年々肥大化する「くるま社会」の中にあって福島空港の開港などにより交通量は急激な勢いで増えています。また、高齢化社会の到来、生活形態の夜間化などから村内で発生する交通事故件数も大変多くなってきています。交通事故は、天災ではありません。防ぐことができるものです。悲惨な結果を招かないためにも日頃から交通安全知識を身に付けて行動することが必要です。

### 増えています

### 村内の事故発生

村内の交通事故の発生状況は、昨年の同時期と比べると死亡数は減っているものの件数及び傷者数、物損事故は大変増えています(表参照)。石川警察署管内でも本村の事故発生は他町村に比べても大きな伸びを示しています。

交通事故の発生状況調 (H9.7.31現在)

	本年	昨年	増減
発生件数	37件	23件	+14件
死者数	0名	1名	-1名
傷者数	46名	30名	+16名
物損	50件	31件	+19件

- 主な人身事故原因としては、  
 ①自動車の速度の出しすぎによる自損事故、②高齢者が第一当事者の事故、③交差点での事故、④わき見運転による追突事故などとなっています。

『あの時こうしていれば』と思っても事故の後ではどうしようもありません。日頃から交通安全についてよく考えておくことが大切ではないでしょうか。

### 事故の予感

事故にあったことがなくてもヒヤッとした経験は誰にでもあると思います。そこで次に住民の方々4名から聞いた証言を紹介いたします。

証言1「あれは子供たちが集まる公園近くの駐車場でした。後ろを良く確認しないでバックしたら、小さい子供が立っていました。ほんの数センチで僕は幼児をはね飛ばすところでした。ああ良かったと思うこともよく確認しておけばと胸がそおしくしましたね。」(20代男性)

証言2「先日、村道を自動車です走っている時でした。私はさほどスピードは出していませんでした。50メートルくらい先でしたが突然自転車に乗った小学生が一旦停止もしないで出てきました。まだ余裕があったから良かったですが、もう少し前方を走っていたらと思うと冷汗がでました。」(30代男性)



### 検証!! 交通事故シンドローム

証言3「私は、比較的、相手まかせというか、どんな時でも相手が避けてくれるだろうという気持ちを持って運転していたような気がします。しかし、いつもそうは行きませんよね。交差点内で直進車と接触事故を起こしてしまいました。それ以来、慎重運転になりました。」

(30代女性)

4人の住民の方々からの証言を検証してみます。証言1で、車の後ろの死角となっているところに幼児などが立っているも見えませんが、また、このような事故は、特に慣れている場所です。起り易い特徴があるかもしれません。慣れているが故に、後には誰も居ないんだという潜在感から注意を怠って起こるケースがあります。

次に証言2です。この方は小学生的の話をしていました。その他の方々からの証言では高齢者の自転車や歩行でも一時停止をしない場合が多いと聴きま

交通量の多い道路に一時停止をしないで出るとは自殺行為です。必ず止まりましょう。

証言3の場合は、ドライバーとしての責任感の欠落です。このような無責任な行動では道路を走る資格なしということになります。

証言4は経験された方も多いのではないのでしょうか。15分くらいの休憩でも結構回復するものです。走るのを止めて休みましょう。また、近頃は、携帯電話の普及で電話で話しながら運転する人もいたりします。注意が散漫になるので絶対にやらないようにしましょう。

### 交通安全は家庭から 啓発に努めましょう

交通安全は、だれにでも共通する問題です。家庭・学校・職場・地域などでそれぞれ啓発活動が行われています。

啓発活動の中でも特に単位の小さな『家庭』での啓発が重要です。お父さんが中心になって、お母さん、子供たち、おじい

ちゃん、おばあちゃんがそれぞれに関連した交通安全問題を提起して話し合いを持つことは重要なことです。そして一人ひとりが交通安全の大切さを自覚しなければなりません。今夜、あなたのお宅でも話し合ってみてはいかがでしょうか。

運動の重点  
 ◎高齢者の交通事故防止  
 ◎シートベルトの着用の徹底

### 秋の交通安全運動週間

9/21～9/30

「いつこきまします。」



### 信号機を設置

#### 竜崎で点灯式

竜崎字糺屋地内の国道と農免道路の交差点に信号機が設置され9月9日午前10時から点灯式が行われました。式では、車田村長、安島石川警察署長、岡部竜崎区長からそれぞれお祝いのご挨拶が述べられた後、信号機に電源が入れたら参列者全員で横断歩道を渡って完成を祝いました。

#### 点滅式から定周期式へ

糺生字羽根石地内の県道と村道交差点の点滅式信号が定周期式信号に改良されました。従来の点滅式と間違わないように十分注意して通行するように心掛けてください。



9月4日から定周期式に改良(糺生地区)



車田村長と安島署長を先頭に(竜崎地区)



いずみ幼稚園の交通教室

(40代男)



中学生国内研修報告続報

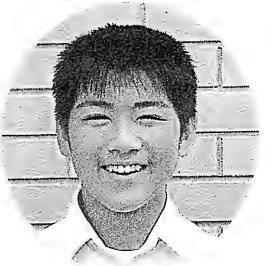
'97夏、北海道にて

思い出の研修を記す

平成9年度のふるさと創生事業の中学生国内研修は、7月28日から30日までの2泊3日の日程で行われました。コースなどは先月号で紹介しましたが、今回は、続報として参加した生徒からの体験レポートを通して研修の様子を振り返りたいと思います。福島空港から飛行機を利用しての旅。そして、広大な北海道の自然を子供たちの心がいかなる視点でとらえたか、また体験を通してどのような感動が得られたかを紹介します。

「わずか一時間  
ちよつとで北海道」

初めて乗った飛行機



須釜中2年 小原直也

僕は、今度の北海道旅行で初めて飛行機に乗りました。乗るまでは、もし墜落したらどうしようかなど心配してい

ましたが、すぐにそんな不安は消え、とても楽しい時間を過ごすことができました。特に、離陸してまもなく、玉川村が眼下に見えた時は感動しました。まるでオモチャのような家々や山並みは下界で見える景色とは別の世界でした。

飛行機にも慣れ、友達との会話がはずんでいたら、先生が「コックピットの見学ができませんよ。」と言ったので、是非見てみたいと思い前方へ進みました。操縦席には、数えきれないほどのスイッチやレ

バーがありました。これらを自在に操縦するパイロットは本当にすごいと思います。そして、お昼過ぎには、帯広空港に到着です。わずか一時間ちよつとで北海道に着いてしまったので、なんだか信じられない感じがしました。

もつと乗っていたいような気もしましたが、初めての飛行機の旅はとても最高でした。

「カヌーは楽しい」

十勝ネイチャーセンター  
での僕の挑戦



須釜中2年 石森拓也

僕は、北海道研修旅行へ行つても楽しかったです。十勝はとても広くて緑がいっぱいありました。十勝ネイチャーセンターに行くのを僕は

とても楽しみにしていました。実際行ってみると、とても広いところでした。僕は、パラグライダーとカヌーに挑戦しました。パラグライダーはとても楽しみにしていました。インストラクターの人の指導を受けてさっそく挑戦しました。救命胴着を着て、乗り方を教えてもらい挑戦しました。どんなにがんばっても全然飛ばせませんでした。他の人たちは飛べたのに自分が飛べなかったのがとても悔しかったです。次に挑戦したのがカヌーです。カヌーももちろん始めて

なので、最初は水の上とあっておっかなびっくりでした。何回もやっているうちに要領がわかってきて、とても楽しくなりました。この貴重な挑戦を僕は一生忘れないと思います。そしてまた機会があったら、今度はゆつくりやってみたいです。



「じつとりとした魅力」  
雨の阿寒湖



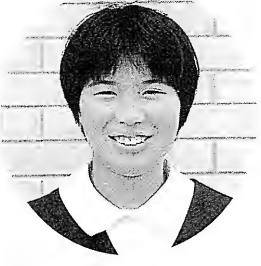
泉中2年 車田睦美

私は阿寒湖で楽しみにしていたことがあります。それは遊覧船に乗り、太古の自然や原生林に直接ふれ、特別天然

記念物のマリモを見ることです。しかし、残念ながら天候が悪く雨が降っていました。楽しみにしていた太古の自然も雨できれいに見ることができませんでした。けれど、雨の阿寒湖もじつとりとした魅力があると思いました。楽しみにしていたマリモは思っていたより、できるのに歳月がかかることを知ることができました。マリモは湖の中にできた、まりの形をした藻のことで、どうしてまり状になるのかとても不思議でした。

二日目に泊まったホテルは阿寒湖畔にあり、夜の阿寒湖は、遊覧船などがとまっており、湖面に映る光がとてもきれいでした。私は北海道研修旅行で行った阿寒湖は、福島県では見ることができない自然が見られるとてもよい思い出ができました。

「偉大なる自然」  
釧路湿原



須釜中2年 関根香

私は今回「釧路湿原」へ行って、改めて自然の偉大さを感じました。見渡す限りの緑と、そこにそびえる山々の景色は、私自身すぐく落ちつける環境でした。

バスから降りた時の暑さとは違い、こち良い風、そして木々の茂った林。それらはみな、今までの疲れをいやし

てくれるかのような安らぎの一時を与えてくれた気がしました。歩き疲れた足とは違い、私の心は、とても晴れやかな気持ちでした。普通では見ることのなかった大きな葉を持つ植物、名前も聞いた事のない木々。それは、私にとってもよい学習になりました。釧路湿原。沼から生え息づいている植物たち、そして、豊かな水の源。このような雄大な自然を持つこの地を絶対に私達「人間」の手で汚してはならないと心に思いました。そして、この素晴らしい自然を壊さず次の世代へと受け継がせて行きたいと思いました。又、いつか機会があったらならばもう一度行ってみたいと思いました。

「海岸線や山、街が  
はつきり見えた」  
初めての飛行機



泉中2年 小針可奈

北海道研修旅行で私が最も楽しみにしていたことが飛行機に乗れることでした。ほとんどの人が飛行機に乗るのは初めてで私も初めてだったの

でワクワクしていました。飛行機が発発してもあまり動いているという実感がなかったけど、加速し始めるとジェットコースターみたいですごく楽しく、みんなも楽しそうに歓声をあげていました。窓の外を見てみると、下は雲で他の景色は全然見えなかつたけど、雲が永遠に続いているみたいで感動しました。機内ではスチュワーデスさんがいろいろと親切にしてくれたのでとてもゆつたりできました。またコックピットの中を見せてもらい操作が難しそ

だなと思いました。帰りの飛行機では、雲がなかく海岸線や山、街などはつきりと見え本当に空の上にいることを実感しました。一時間五分はすぐに過ぎてしまし福島空港に着いてしまいました。貴重な体験ができた本当によかったと思います。また飛行機に乗りいろいろな所に旅行したいと思います。



## 第2回 よい歯のコンクール 3名の児童に表彰

平成9年度の第2回よい歯のコンクールの表彰式は、7月25日(金)に村保健センターで行われました。  
3歳児健康診査の歯科診査で虫歯の無かった子供3名が表彰されました。



小原 舞香さん  
(岩法寺・克 友)



矢吹 凌太さん  
(吉・春 美)



石森 真由さん  
(山小屋・健 一)



小林教育長から辞令書を受けるアリスン先生

## ようこそ玉川村へ 英語指導 アリスン・フィールドさん 助手

### 本村で一年間英語指導

本村の英語指導助手としてオーストラリアからアリスン・エリザベス・フィールドさん(21歳)が来村しました。8月から

1年間、村内の小中学校などで英語の指導を行うことになりました。  
アリスン先生は、オーストラリアのシドニー市出身で市内にあるマッコリー大学を今年卒業しました。趣味はショッピング。好きなスポーツはロッククライミング、テニス、ジョギングという活発なお嬢さんです。  
大学時代に「源氏物語」を読んだり、俳句や短歌を書いたり日本の古典文学に

初めまして。

私の名前はアリスンフィールドです。21歳です。オーストラリアのシドニーから来ました。1997年8月2日に玉川村に着きました。玉川村は大きな建物が多くて大変静かな村でびっくりしました。日本語と日本の文化を習う事が大好きで、大学に入学する時、日本に行く事をたのしみにしていました。マッコリー大学で日本語を勉強したので、日本語を話す事が少しできます。  
なぜ玉川村に来たかという点、昔人に英語を教えるのが好きで、日本語を話すようになるのが好きです。この仕事を得心するに感謝し、皆さんに会えるのがたのしみにしていきます。

もたいへん興味をもっています。  
次の文章は、アリスン先生が村民の皆さんにあてた直筆の手紙です。

## 海外派遣団員早朝から一斉に

村海外派遣団連絡協議会(佐久間安直会長・会員27名)では、8月31日(日)の早朝に、加盟している11団体の会員が村内各主要道路に一斉に出動して沿線の空き缶とゴミ拾いを行いました。

協議会では、毎年、美しい村づくりをテーマに美化活動として、花いっぱい運動と空き缶、ゴミ拾いをボランティアで協力しています。

## 美しい村づくり ボランティアで空き缶、ゴミ拾い



空き缶、ゴミ拾いをする「ふるさと4年会」のメンバー

## 全校生徒で奉仕

須釜中学校(鯨岡忠治校長)では、8月29日(金)に生徒会活動の「地域に対する奉仕作業」として、全校生徒146名が参加して、道路沿線の空き缶とゴミ拾いを行いました。

作業の結果、軽トラック2台分の空き缶とゴミが集められました。学校では、この活動を通して環境美化に対する生徒の関心が高まり、より良い体験学習ができたと話していました。



第4回全国玉川サミットであいさつする車田村長

# 全国玉川サミット本村で開催

## ゴミ問題をテーマに意見交換

同じ町村名が縁で交流をしている全国玉川三町村の第4回全国玉川サミットは9月3日(水)本村ふれあいセンター研修室で開かれました。同サミットには、車田次夫村長、柏俣昌平、平崎玉川村長、村上忠美、愛媛県玉川町長と各町村議長、本村幹部らが出席して行われました。

今回のサミットは、基本テーマを「ゴミ処理の現状と今後の対策について」として各町村長から「ゴミ処理対策の現状の説明のち、問題点などについて意見の交換が行われました。

## 共同宣言を採択

全国玉川サミットは、平成5年12月に本村で第1回サミットが開かれ、その後各町村で会場持ち回りとなり今回が本村で2回目の開催となりました。

全国玉川サミットでは、毎回テーマを設けて情報、意見の交換が行われています。これまでにも「生涯教育問題」や「高齢化社会問題」について話し合いが行われました。

今回の第4回全国玉川サミットでは、「ゴミ処理の現状と今後の対策について」をテーマにして各町村長からゴミ

処理の現状が説明されました。その後の意見交換では、主にダイオキシン問題、ゴミの不法投棄の問題、分別収集問題に各町村の対策や今後の施策についての意見が出されました。

意見交換の後、大きな行政課題であるゴミ問題への取り組みを誓い合い、美しい郷土づくりに努めながら三町村の友好と交流の輪をさらに発展させることを盛り込んだ「共同宣言」が採択されました。また、同サミットに出席された本村の高林浅男議長



サミットに出席した村上町長(前列左から2人目)、柏俣村長(前列左から3人目)

長、杉田哲夫、埼玉県玉川村議長、門田猛、愛媛県玉川町議長、議長からそれぞれあいさつが述べられました。  
なお、同サミットの開催に先立って、今回出席された埼玉、愛媛両県関係者は、車田村長の案内で村生産物直売所(こぶしの里センター)と東野清流、ふれあいセンターを視察しました。





### 平成9年度緑の少年団夏期キャンプ 緑と親しみ友情を育む 玉一小校内で実施

8/23  
~24

今年度の玉川第一小学校(水野岩雄校長)の緑の少年団の夏期キャンプは、校内の施設を利用して6年生児童52名が参加して1泊2日の日程で行われました。

開会式では、水野校長先生と来賓の村農政課の草野課長からあいさつがありました。また、さきに福島県緑化推進協議会から優秀校として表彰された表彰状の伝達が草野課長から児童の代表に行われました。

当キャンプは、自然の大切さとみんなで活動するすばらしさを知ることをねらいとして行われ、森林技術センターの太田所長さんらが講師となって「樹木教室」も開かれました。

### 玉川村役職員ソフトボール大会 消防団幹部が優勝

第24回玉川村役職員ソフトボール大会は、村民グラウンドで各役員8チームが参加して熱戦を繰り広げました。

暑さが厳しい中、各試合とも白熱したプレーや珍プレーが続出し楽しい大会となりました。決勝戦は、消防団幹部チーム対議会議員チームの組み合わせとなり10対9の僅少差で消防団幹部チームが優勝しました。

成績は次のとおりです。

- 優勝 消防団幹部チーム
- 準優勝 議会議員チーム
- 第3位 区長会チーム
- 教育チーム



優勝した消防団幹部チーム



楽しい仮装盆踊り大会

### ふれあいセンターで 楽しい盆踊り会

#### 村商工会婦人がボランティア

村ふれあいセンターのホール内に盆やぐらを建て、楽しい盆踊りが行われました。

やぐらは、職員の須釜勝則さんが竹を組んで建てたもので、飾りつけをしたやぐらは大変豪華なものでした。踊りは村商工会婦人部の皆さんの協力で行われました。この日の利用者は竜崎地区の方々と、笛太鼓に合わせた仮装盆踊り会は、本場の盆踊り大会をしのぐ迫力でした。

また、商工会婦人部では、この日のほかに8月19日、20日にもボランティアとして盆踊り会に協力しました。

8/29

### 桃狩り体験学習 大きい桃がいっぱい

福島空港観光果樹園にて

9/1

すがま幼稚園の園児58名と須釜児童館の児童29名は、北須釜の福島空港観光果樹生産組合(佐久間安直組合長)の果樹園で桃狩り体験を行いました。生産組合の計らいで毎年行われています。

組合員の野口勘市郎さんの説明と指導の後、直接、樹から取って袋に入れ、貴重な体験に子供たちは大喜びでした。



「どれにしようかな」と園児たち



覚書に調印する車田村長(左端)

### 郵便局が災害時協力 村と覚書を締結

9/1

村と玉川、須釜両郵便局は、防災の日である9月1日に「災害時における協力に関する覚書」を締結しました。

覚書では、村内に大地震などの災害が発生した場合を想定しての行政と郵便局との業務協力を明記しており、郵便業務に支障のない範囲での避難場所としての施設と用地の提供や職員の相互派遣などが盛り込まれています。



車田村長から委員に委嘱状が交付

### 安全で住みよい村づくり 玉川村防犯推進協が設立

8/28

村民の防犯意識の高揚と自主防犯活動の推進を図り、安全で住みよい地域社会の実現を目的とした「玉川村防犯推進に関する条例」は、6月定例議会で議決され7月1日から施行されました。

条例では協議会の設置を明記しており、このほど初めての協議会が開かれ、防犯関係団体の代表者19名に車田村長から委嘱

状が交付されました。協議会では、車田村長、安島石川警察署長からあいさつした後、「地域の防犯推進について」と題して石川警察署の佐藤生活安全係長から講話がありました。また、村駐在所から村内で起きている犯罪事例が紹介されました。協議会の役員選出では会長、副会長3名が次のとおり選出されました。

- ◆ 会長 仁井田 保雄
- ◆ 副会長 境 田 孝 意
- ◆ 〃 双 里 昌 光
- ◆ 〃 佐久間 安 直

### トピックス IN たまかわ

—みなさんからの話題をおまちしています—  
役場総務課広報広聴係まで



親子で楽しい料理づくり

### 玉川村食生活改善推進員よつばの会 母と子の料理教室

8/10

夏休み恒例の「母と子の料理教室」は、午前9時から村保健センターで開かれました。

9組22名の親子が参加して洋風の「すしオードブル」「野菜と豆腐のスープ」「青のりフライドポテト」を作りました。大変暑い日でしたが、皆さん汗だくになりながらも楽しい料理のひとつときを楽しみました。また、会食後は、花折り紙などを作ったりのレクリエーションを行いました。



影絵を楽しむ児童たち

### 影絵劇を上演

8/6

#### 福大児童文化研が 福島大学の児童文化研究会影絵部会(石森裕子部長・山小屋出身)の3名による影絵が須釜公民館で行われました。

上演されたものは福島大学のオリジナル作品で、手影絵「チャンちゃん」と影絵劇「鬼といりまめ」、「ボードビル」の3本です。

夏休み中で会場には、小学生を中心に児童館の児童などいっぱい詰めかけ、影絵観賞を楽しみました。また、8月7日には村民体育館でも上演されました。

# 国民健康保険証

## 10月から新しい保険証です

国民健康保険証の更新を次の日程により行います。現在もっている保険証と印鑑を持参のうえ忘れずに更新してください。お問い合わせは役場健康福祉課国保係まで。

保険証の更新日程表

月日	地区名	時間	場所
9月29日(月)	生高 小	午前9:00 ~ 12:00	役場健康福祉課
	崎 竜	午後1:30 ~ 2:30	竜崎公民館
	寺 法	午後3:00 ~ 4:00	岩法寺地区農業構造改善センター
	辺 川	午後4:30 ~ 5:30	川辺公民館
9月30日(火)	須釜 北	午前9:00 ~ 12:00	須釜公民館
	井沢 四河	午後1:30 ~ 2:30	四河農業研修所
	屋小 小	午後3:00 ~ 4:00	山小屋公民館
	吉	午後4:30 ~ 5:30	吉集会所
	滝作 小	午後3:00 ~ 4:00	山小屋公民館

平成9年10月1日 統計

## 就業構造基本調査

選ばれた世帯の方は、調査票への記入をお願いします。



この調査の結果は、国や都道府県が雇用政策などの施策を考えていくための基礎資料となります。

### 年金 保険料の免除制度

国民年金は、20歳から60歳までの長い間保険料を納めなければなりません。

このため、長い被保険者期間中には、やむを得ない理由で保険料を納められないことも考えられます。

そこで、国民年金には保険料を免除する制度があります。

①法定免除  
障害年金(障害等級が1級及び2級)や生活保護法による生活扶助を受けている期間は、届出により保険料が免除されます。

②申請免除  
病气やケガ、失業、営業不振などの理由で収入が少なく、納めるのが難しい場合は、申請して免除基準に該当すれば保険料が免除されます。

③学生の免除  
学生は一般的に親に扶養されていて収入がないことから、親元の負担があまり重くならないよう特別な免除基準が設定されています。

### 保健 子宮がん検診のお知らせ

「子宮がん検診は、いいか…」なんて思わず、異常がないからこそ検診を受けて、明日からの生活に役立ててください。対象は30歳以上の女性です。30歳になったら必ず受けましょう。

月日	受付時間	会場	該当地区
9/24(水)	9:00~9:30	須釜公民館	東部地区
	13:30~14:00	保健センター	西部地区

※意向調査を基に、カルテを打ち出しましたが、その後、変更があって、検診を受けたいという方も当日に受付ができますので、当日にいらして下さい。

尚、不明な点は… 役場健康福祉課まで (☎57-4623)

### 夢コロンブス18 ふるさと自慢祭

9月28日(日) 午前10時~午後4時30分

会場◇須賀川アリーナ

内容◇ふるさと自慢ステージ(郷土出身芸能人ショー、郷土芸能等)、ふるさと自慢村(特産品、工芸品等の販売PR)、ふるさと自慢写真展(各地の名所旧跡や自然等の展示)ふるさと自慢レストラン(郷土料理の試食、販売ちびっこ遊ランド)熱気球での無料浮遊体験(27日の午後より。但し、強風時は中断)ふあふあ、緑日等の遊び体験(この他にも楽しい遊びがいっぱいあります。入場無料。)

問い合わせ◇ 郡山地方広域市町村圏組合 ☎0249-24-2545

### 第13回福島県消防ポンプ操法県中大会

## 小高分団が出場

### 惜しくも入賞を逃す

県消防操法競技会石川支部大会のポンプ車の部で優勝した小高分団(溝井康夫分団長)は、8月22日(金)に郡山市の大槻町スポーツ公園で行われた第13回福島県消防ポンプ操法競技県中大会に出場しました。

県中管内からポンプ車の部と小型ポンプの部に17チームが出場して炎天下での競技が行われました。

小高分団の競技は、開会式直後の最初に行われ、長い期間の辛い練習に耐えた選手たちは、常時バックアップしてくれた分団員や地区の皆さんなどの応援を受けて見事な操法を披露しました。

競技の結果は、惜しくも入賞は逃しましたが、精一杯競技をした選手たちには応援団から惜しみない大きな拍手が送られました。



小高分団の競技の様子

### 愛の献血をありがとう

7月18日の献血者は、次の72名でした。あなたの愛に感謝いたします。

(献血場所と献血者数)

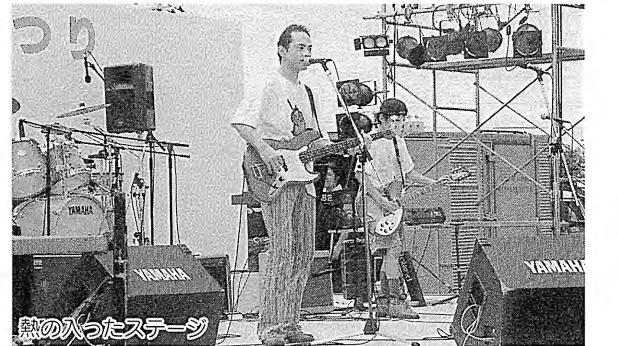
(敬称略)

東京精工(株) 24名  
小豆畑 智・阿部由紀夫・安斎 笑・岩谷 清・遠藤 利幸・大越トミ子・加藤 進・草野一代・佐藤勝利・

玉川村役場 25名  
有賀美美・上野京子・大越 健一・草野正博・草野義房・小林里美・小針達夫・小針康敬・佐藤隆之・塩澤 邦章・塩澤美代子・塩田 敦・塩田 敬・瀬谷正行・添田孝則・圓谷さとみ・野口サツ子・野崎智之・曲山 孝夫・増子広行・森 博・谷地幸子・矢部 博・山田 隆男・吉田貴子

日本精密加工(有) 23名  
朝倉竹三・味戸勇雄・上野 光子・太田 真・面川直美・小山田志津子・国分一・斉藤浩正・佐々木洋子・須釜美恵子・鈴木三千・関根健司・滝口政義・滝田徳実・平塚日出子・福士信子・松本修一・三坂義男・武藤倫康・柳沼よし子・箭内 勲・吉田勝則・渡辺幸雄

佐藤由起子・須藤初枝・先崎一元・田中恒治・戸賀利政・永沼喜一・永林正一・根本晃生・根本武則・藤沢 靖彦・三島木哲也・水野寛幸・溝井隆裕・矢部政広・吉田辰良



熱の入ったステージ

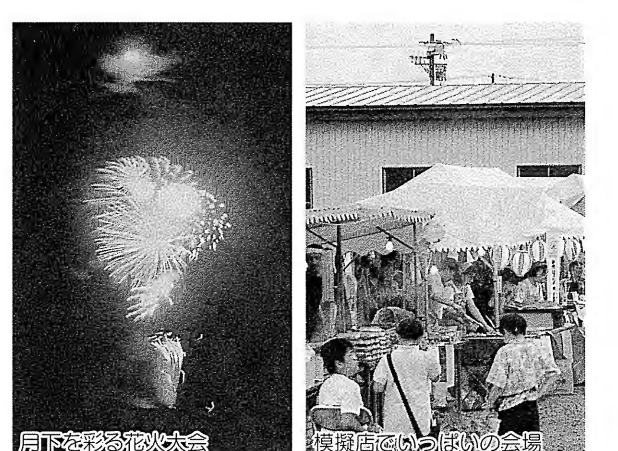
## 玉川夏まつり 歌や踊りのステージ

### 模擬店も多数出店

玉川夏まつり実行委員会主催による第8回夏まつりは、8月13日に役場駐車場をメイン会場に行われました。

今年の夏まつりは、玉川音楽祭とジョイント開催され、また芸能発表も行われるなど特設ステージでは、若者からお年寄りまで楽しめるプログラムが組まれ大勢の観客で賑わいました。

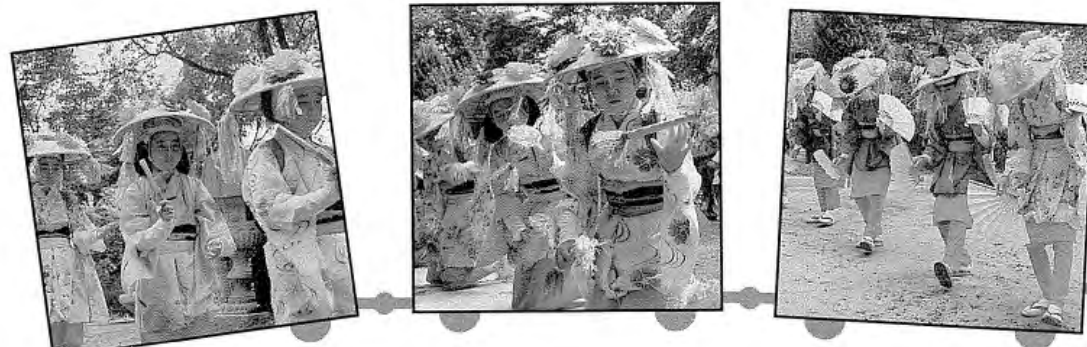
会場には、金魚すくいや焼きとりなどの模擬店が多数出店してまつりを盛り上げていました。また、夜は阿武隈川畔を会場に花火大会が行われました。



月下を彩る花火大会

模擬店にいろいろの会場





～8月14日、東福寺境内で行われた南須釜の念仏踊り～

### 不動産取得税のお知らせ

土地や建物などを取得したときには、不動産取得税がかかります。税額は、土地や建物ごとにその価格(固定資産税評価額)に4%の税率をかけた金額ですが、住宅や一定の要件にあてはまる住宅用土地の税率は3%になります。なお、宅地の取得が平成9年中であれば、その価格の1/2に税率をかけた額になります。また、一定の要件にあてはまれば、税額が軽減される特例があります。詳しくは、下記にお尋ねください。

福島県中地方振興局県税部  
直税課直税第二係  
電話 (0249)35-1254

### 悩みや苦情は、まず相談!!

秋の行政相談週間

〈無料・秘密厳守〉

10月12日(日)～18日(土)の一週間は「行政相談週間」です。総務庁では、行政相談制度のより一層の利用を促進するため、この一週間で「行政相談週間」として全国一斉に各種の行事を実施します。

行政相談は、役所(国、県、市町村)や公園・公庫、NTT、JRなどの仕事に関して困っていることや要望したいことについて相談に応じ、その解決のお手伝いをするものです。行政相談委員は、いつも自宅で相談に応じていますが、この期間中は、次のところで行政相談会を開催いたします。



相談役員 真野 善正  
住所 南須釜字行人塚21  
電話 (57)3001

### 相談会の開催

★月 日 10月15日(水)

★場所及び時間

役場北庁舎(9時～12時)  
須釜公民館(13時30分～16時)

### お気軽にご相談下さい

### 全国一斉 司法書士無料登記等相談

(登記・供託・訴訟書類の作成・等)

十月一日は「法の日」です

福島県司法書士会では、登記や居宅の手続き、訴訟書類の作成などについての無料登記等相談会を行います。

★相談日時 10月1日(水) 10時～15時

★相談場所 石川勤労青少年ホーム

★相談内容 不動産の相続・売買・保存などの登記会社の設立・役員変更・増資などの登記借地借家法に基づく手続き・供託の手続き・家事審判手続き・訴訟書類の作成など

※相談は個別に伺い、相談内容はすべて秘密にいたします。

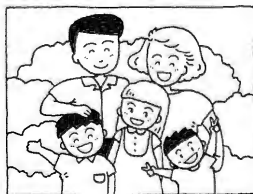
★相談員 福島県司法書士会会員

★主催 福島県司法書士会

電話(0245)3417501

### 10月は仕事と家庭を 考える月間です

高齢化や核家族化が進む中、育児や家族の介護の問題は、労働者が仕事を続ける上で大きな問題となっています。事業主には、労働者が育児や介護を行いながらその技能や経験を生かして働き続けられる就業環境の整備が求められています。育児・介護休業法により、すべての事業所で働く男女労働者は、子供が1歳に達するまで育児休業を取ることができます。また、介護休業制度は平成11年から義務化されますが、義務化に先がけて制度を導入し、利用者が出た事業主には奨励金が支給されますのでご利用下さい。詳しくは労働省福島県少年室(☎0245-36-4609)まで。



### 伝言板

### アリスン先生に英会話を 教わりませんか



村英語指導助手のアリスン・フィールド先生が講師で英会話講座が下記要領で開かれます。受講を希望される方は、村公民館へお申込みください。

- 記
- ◇対象者 村民並びに村内事業所に勤務されている方
  - ◇開催期間 平成9年10月～平成10年3月までの毎週水曜日
  - ◇開催場所 就業改善センター
  - ◇募集定員 30名
  - ◇受講料 無料(ただしテキスト代は実費)
  - ◇講座内容 初心者向けの日常会話

### 寄付ありがとうございます

下記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

- 記
- 竜崎の岡部勇一さんから 2万円
  - 竜崎の鈴木朝雄さんから 2万円
- (村社会福祉協議会)



### 村のようす

(9年9月1日現在)

- 1,739戸(+4)
- 7,635人(-1)
- 3,734人(-2)
- 3,901人(+1)

### お誕生おめでとうございます



地区	出生児氏名	保護者名
川辺	須藤 菜々	顕 司
蒜生	溝井 駿	一 男
竜崎	西島 瑠衣	信 一

### おくやみ申し上げます

地区	死亡者氏名	年齢	世帯主名
竜崎	岡部 マサ	73	勇 一
〃	鈴木 ナツ	75	朝 雄
南須釜	塩澤 巧	0	正 保

### 今月の納税

国民健康保険税 第3期  
国民年金保険料 9月分  
【納期限は9月25日(木)です。おくれは(納金)です。】

### 9月10月の健康ごよみ

- 9月
- 24日(水) 子宮がん検診 (詳しい時間・場所は、11頁のお知らせを参照)
  - 30日(火) 機能訓練 午前10時～
- 10月
- 3日(金) 3、4カ月児健診 午後1時～
  - 8日(水) 股関節脱臼検診 午後1時30分～2時
  - 9日(木) 献血 村内
  - 15日(水) 母親教室 午後6時15分～
  - 17日(金) 1歳6カ月児健診 午後1時30分～
  - 18日(土) 機能訓練 午前10時～

保:保健センター 須:須釜公民館  
中谷:中谷農村婦人の家 受:受付時間

### 歌愁短歌会玉川支部詠草集

村公民館

千歳山登り詰めれば町並みに枝振り伸ばす枯れし赤松  
吹く風を絶えず流せど糸柳いつしか緑を纏っていたり  
澄む水に風の渡りて沼べりに病を癒す女性が一人  
わが名前平凡なるがよとして今日も耕す鍬提げてゆく  
山小田を覆う若葉の匂いつつ苗の育たぬ陰つくりいる  
東京より帰省するとう孫の顔一年振りの成長見らるか

- 吉田 英祐
- 小針 みね子
- 小針 愛子
- 溝井 はなよ
- 柳沼 ツヤ
- 曲山 きくみ

# 趣味の達人

⑥

敬老特集 『草刈り』……大越 サ タ さん

「今日は敬老の日です。今回は村内一の長寿者大越サタさん98歳・南須釜の草刈りを紹介します。」

「(玄關脇に)草刈り鎌がいっぱいありますね。」

「これでも7丁くらい減らしたんです。良く研いで使いたった鎌は『魔除け』になるから欲しいと言われてあげました。」

「良く手入れされていますね。」

「今も家の回りなどの草刈りをやっていますしやるんですか。」

「今年の6月に草刈りや鎌の手入れをしている時に腰をひねって思ってから控えていますか。」



愛用の鎌を持つ大越さん

「やる気ならできるだけ家族が心配するもので。」

「お元気ですね。身の回りのことは自分でやっておられるんですか。」

「炊事、洗濯、掃除も自分でします。腰を悪くするまでは風呂炊きもしていました。」

「今は趣味の域での草刈りですが、昔は仕事でやられたのでしょから苦勞が多かったですよ。」

「今は機械でやりますが、昔はこの鎌で家畜のための草や田の畔の草を刈ったんです。」

「草刈りよりも荷物などの運搬が大変でしたね。全て人力ですから。」

「他に趣味的なものといったら何かありますか。」

「テレビで時代劇や相撲を見るのが好きですね。昔はプロレスが大好きだったんです。力道山とかジャイアント馬場が好きでした。」

「長生きの「コツ」ってなんですか。」

「くよくよ心配しないこと。食への好き嫌いが無いこと。それに家族が大変良くしてくれること、家の者はみんなやさしくしてくれるのでこれが一番だと思っています。」

「夕食の際の小さな盃で少し飲むという晩酌も効果があるかもしれませんね。」



## シリーズ「私の宝もの」⑤

敬老特集 車田 カネ さん

「村内二番目の長寿者である車田カネさん97歳・小高の宝ものを紹介します。」

「私の宝ものは、この一枚の写真です。この写真は、私が16歳の時に写した写真です。今から81年前の写真です。とても貴重なもので大切にしているものです。私は16歳から18歳まで竜崎でお針を習っていました。その時の先生や生徒と一緒に竜崎の八幡神社で撮った記念写真です。これは針供養の時だったと思います。19歳で小高に

嫁いできました。冬の雪道を岩法寺の実家から歩いて来ました。この写真も大事に持参しました。子供たちが鉛筆などで落書きをして汚れていますが、私の若かりし頃を写した大切な宝ものです。えっ？長生きのコツですか。それは粗食、特に野菜類を食べることがいいですね。あと唄を歌ったり、踊りを踊ったりもいいですね。今年には岩法寺にいる娘も敬老会に招待されるんですよ。親子そろっての招待です。うれしいですね。」

### 東京玉川会コーナー



## 心に残る 我がふるさと 『ふるさとは心の大地』

神奈川県川崎市 平沢 ミサ子 さん  
(北須釜出身・瀬谷哲男さんの妹)

ふるさと玉川村、そして東京玉川会の皆様お元気ですか。私の住む街川崎市中原区は慶応義塾大学日吉校舎が道標となっております。おるところであります。

「ふるさとは遠きにありて思うもの、そして悲しく思うもの……」。広報たまかわの紙面を拝借しまして、幼少の頃に遊び回った行きずりの家のお父さん、お母さん、いろいろとお世話話様になりました。厚く御礼を申し上げます。

さて、ふるさとを思い浮かべますと、下駄を手に持って裸足で通ったあの林道、そして田んぼで鳴くカエルの声や耳をすませば遠くから賑やかに歌い踊る盆踊りの笛、太鼓の音色が私の脳裏に焼きついております。そのふるさと玉川村も空港が出来て、福島県の空の玄関口となり



家族です。前列左・私、右・娘、後列左・夫、右・息子

開発が進んでおります。林道は、今ではすっかり舗装がされて車の往来が激しくなっております。

しかし、夜空を見上げるとあの満点の星空、そして緑の大地と人情の厚さは決して変貌しないでいてほしいと願う一人であります。いつまでも隣近所の温かい気持ちがあるふるさととは心の拠りどころです。

東京玉川会も来年で10周年を迎え、これに伴う記念行事である「村内見学バスツアー」が行われるそうで今から楽しみにしております。今後東京玉川会がより一層充実した会に発展することと、会員の皆様のご健康をお祈り申し上げます。